



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月8日

上場会社名 アキレス株式会社
 コード番号 5142 URL <https://www.achilles.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 伊藤 守

(氏名) 藤澤 稔

TEL 03-5338-8112

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	20,607	5.0	459	33.2	583	44.4	832	166.4
29年3月期第1四半期	19,634	△1.7	344	44.5	403	3.3	312	△75.7

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 757百万円 (—%) 29年3月期第1四半期 △874百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	47.57	—
29年3月期第1四半期	17.08	—

※平成28年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、1株当たり四半期純利益は、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	77,950	44,341	56.9	2,543.95
29年3月期	79,720	44,837	56.2	2,541.84

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 44,341百万円 29年3月期 44,837百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	0.00	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※29年3月期期末配当金の内訳 普通配当 40円00銭 記念配当 10円00銭

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	41,500	1.4	800	△13.9	900	△15.1	1,000	36.7	57.25
通期	88,000	1.2	2,200	△13.2	2,600	△13.5	2,200	11.4	126.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期1Q	18,362,714 株	29年3月期	18,362,714 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

30年3月期1Q	932,473 株	29年3月期	723,020 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期1Q	17,504,843 株	29年3月期1Q	18,303,788 株
----------	--------------	----------	--------------

※平成28年10月1日を効力発生日として、普通株式10株を1株とする株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経済情勢は、国内では雇用・所得環境の改善が継続し、個人消費や企業の設備投資に持ち直しの兆しが見られました。海外は米国経済が堅調に推移するなか、イギリスのEU離脱問題はありましたがユーロ圏の経済は回復をたどり、中国をはじめとするアジア新興国経済も底堅く推移しました。一方で、北朝鮮情勢をめぐる地政学リスクの高まりもあり、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような事業環境のもと、当社グループは企業価値の増大を目指して、お客様が求める商品・ブランド力のある商品創りに注力してまいりました。具体的には、省エネルギー関連製品、環境対応製品、健康・生活関連製品など成長分野とインフラ整備関連分野、およびグローバル化へと積極的な事業展開を推進するとともに徹底したコストダウンに取り組んでまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高 20,607 百万円(前年同四半期比 5.0%増)、営業利益 459 百万円(前年同四半期比 33.2%増)、経常利益 583 百万円(前年同四半期比 44.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益 832 百万円(前年同四半期比 166.4%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

<シューズ事業>

ジュニアスポーツシューズブランド「瞬足」は、「S-G L I D E」を新たに投入し拡販に注力しましたが、海外ブランドの台頭などにより前年売上を下回りました。一方、「ソルボセイン」搭載のコンフォートシューズ「アキレス・ソルボ」は、主軸の婦人向け製品を全国の有名百貨店へ拡販し、前年売上を上回りましたが、シューズ事業全体では前年売上を下回りました。

シューズ事業の当第1四半期連結累計期間の業績は売上高 3,233 百万円(前年同四半期比 7.5%減)、セグメント損失(営業損失)は 621 百万円(前年同四半期はセグメント損失 449 百万円)となりました。

<プラスチック事業>

車輦内装用資材は、北米マーケットは減速しましたが、国内・中国は採用車種生産の好調により伸長し、全体では前年売上を上回りました。

フィルムの国内事業は、内需関連が電材用で好調に推移し、前年売上を上回りました。輸出は、産業用と欧州向け窓用が好調に推移し、前年売上を上回りました。北米事業は、産業用が好調に推移し、前年売上を上回りました。農業分野は、農業用ハウスの被覆材と生分解用が好調に推移し、前年売上を上回りました。

建装資材の壁材は、好調な市況と新柄投入拡大の効果により、前年売上を大きく上回りました。一方、床材は、主力のクッションフロアの低迷により前年売上を下回りました。

引布商品は、内需向けのエアータント、ジョイントおよび輸出用の引布原反が好調に推移し、前年売上を上回りました。

プラスチック事業の当第1四半期連結累計期間の業績は売上高 9,979 百万円(前年同四半期比 9.4%増)、セグメント利益(営業利益)は 994 百万円(前年同四半期比 24.0%増)となりました。

<産業資材事業>

ウレタンは、車輛用が好調に推移しましたが、家具・寝具用などが低調な推移となり前年売上を下回りました。

断熱資材は、システムは前年並みの売上でしたが、ボード製品は住宅向け、パネル製品は畜産向け、スチレン製品はブロックの受注が好調に推移して前年売上を上回り、全体では前年売上を上回りました。

工業資材は、国内は製造業の国内回帰を受けた静電気対策品の回復、海外は半導体分野向けのウェハー搬送部材の拡販により、前年売上を上回りました。

産業資材事業の当第1四半期連結累計期間の業績は売上高7,394百万円(前年同四半期比5.4%増)、セグメント利益(営業利益)は690百万円(前年同四半期比30.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は77,950百万円で前連結会計年度末に比較して1,770百万円減少しました。

資産の部では、流動資産は49,335百万円となり前連結会計年度末に比較して2,026百万円減少しました。これは主に、商品及び製品が800百万円、電子記録債権が746百万円、原材料及び貯蔵品が136百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が2,664百万円、現金及び預金が1,121百万円減少したことによります。固定資産は28,615百万円となり前連結会計年度末に比較して255百万円増加しました。これは主に、投資その他の資産が203百万円増加したことによります。

負債の部では、流動負債は24,941百万円となり前連結会計年度末に比較して1,260百万円減少しました。これは主に、電子記録債務が779百万円増加しましたが、未払法人税等が632百万円、未払金が596百万円、その他流動負債が547百万円、支払手形及び買掛金が263百万円減少したことによります。固定負債は8,666百万円となり前連結会計年度末に比較して13百万円減少しました。これは主に、退職給付に係る負債が9百万円減少したことによります。

純資産の部は44,341百万円となり、前連結会計年度末に比較して495百万円減少しました。これは主に、その他有価証券評価差額金が168百万円増加しましたが、自己株式の取得により371百万円、為替換算調整勘定が315百万円減少したことによります。以上の結果、自己資本比率は56.9%となり前連結会計年度末に比べ0.7%好転しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年5月11日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,951	8,830
受取手形及び売掛金	25,136	22,472
電子記録債権	2,625	3,371
商品及び製品	8,518	9,318
仕掛品	1,472	1,600
原材料及び貯蔵品	1,938	2,075
繰延税金資産	608	568
その他	1,196	1,168
貸倒引当金	△86	△70
流動資産合計	51,361	49,335
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,370	7,805
機械装置及び運搬具（純額）	5,150	5,124
土地	4,691	4,342
建設仮勘定	660	703
その他（純額）	542	522
有形固定資産合計	18,415	18,499
無形固定資産	434	403
投資その他の資産		
投資有価証券	4,023	4,267
退職給付に係る資産	3,006	3,017
繰延税金資産	1,691	1,624
その他	949	963
貸倒引当金	△161	△160
投資その他の資産合計	9,508	9,712
固定資産合計	28,359	28,615
資産合計	79,720	77,950

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,631	13,368
電子記録債務	2,065	2,845
短期借入金	2,233	2,232
未払金	2,743	2,147
未払法人税等	794	161
その他	4,734	4,186
流動負債合計	26,202	24,941
固定負債		
長期借入金	3,000	3,000
長期末払金	9	9
繰延税金負債	424	419
退職給付に係る負債	4,830	4,820
資産除去債務	365	366
P C B廃棄物処理引当金	50	50
固定負債合計	8,680	8,666
負債合計	34,883	33,608
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,640	14,640
資本剰余金	9,742	9,742
利益剰余金	19,297	19,248
自己株式	△1,153	△1,525
株主資本合計	42,527	42,106
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,101	1,269
繰延ヘッジ損益	122	123
為替換算調整勘定	404	89
退職給付に係る調整累計額	680	751
その他の包括利益累計額合計	2,309	2,234
純資産合計	44,837	44,341
負債純資産合計	79,720	77,950

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	19,634	20,607
売上原価	15,530	15,981
売上総利益	4,104	4,625
販売費及び一般管理費	3,759	4,166
営業利益	344	459
営業外収益		
受取利息及び配当金	27	29
その他	113	138
営業外収益合計	141	167
営業外費用		
支払利息	9	8
その他	72	35
営業外費用合計	82	43
経常利益	403	583
特別利益		
固定資産売却益	0	396
補助金収入	58	—
為替換算調整勘定取崩益	—	71
特別利益合計	58	467
特別損失		
固定資産除却損	12	63
特別損失合計	12	63
税金等調整前四半期純利益	449	986
法人税、住民税及び事業税	160	139
法人税等調整額	△23	14
法人税等合計	136	153
四半期純利益	312	832
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	312	832

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	312	832
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△324	168
繰延ヘッジ損益	△500	1
為替換算調整勘定	△384	△273
退職給付に係る調整額	102	70
持分法適用会社に対する持分相当額	△80	△41
その他の包括利益合計	△1,186	△74
四半期包括利益	△874	757
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△874	757
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	シューズ 事業	プラスチック 事業	産業資材 事業	計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	3,496	9,125	7,012	19,634	—	19,634
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	39	127	167	△167	—
計	3,496	9,165	7,140	19,801	△167	19,634
セグメント利益又は 損失(△)	△449	802	527	879	△535	344

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額△535百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(一般管理費)であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	シューズ 事業	プラスチック 事業	産業資材 事業	計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	3,233	9,979	7,394	20,607	—	20,607
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	35	168	203	△203	—
計	3,233	10,015	7,562	20,810	△203	20,607
セグメント利益又は 損失(△)	△621	994	690	1,063	△603	459

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額△603百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(一般管理費)であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。